



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月7日

上場会社名 ダイキョーニシカワ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4246 URL <http://www.daikyonishikawa.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 成明
 問合せ先責任者(役職名) 経営企画本部長 (氏名) 松尾 拓典 (TEL) 082-885-9979
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	49,644	10.8	3,175	△17.2	3,200	△19.1	2,338	△16.8
2019年3月期第1四半期	44,821	8.8	3,832	△6.3	3,955	△13.2	2,809	△11.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 2,780百万円(28.1%) 2019年3月期第1四半期 2,169百万円(△48.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	33.00	32.98
2019年3月期第1四半期	39.65	39.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	148,482	78,779	51.0
2019年3月期	146,356	77,200	50.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 75,709百万円 2019年3月期 74,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	97,000	14.7	5,600	△10.1	5,700	△10.9	4,000	△6.5	56.45
通期	193,000	4.7	10,600	△27.5	10,700	△27.9	6,900	△33.7	97.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期1Q	73,896,400株	2019年3月期	73,896,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,042,930株	2019年3月期	3,042,930株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期1Q	70,853,470株	2019年3月期1Q	70,849,980株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年6月30日）においては、2019年度から2022年度までの4年間を対象とする新たな「中期経営計画」をスタートさせ、最終年度である2022年度の経営指標達成に向けた取り組みに着手いたしました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、主要販売先への売上増等により、売上高は前年同期と比べ4,823百万円（10.8%）増加の49,644百万円となりました。営業利益は、増収効果やコスト低減等はありませんでしたが、働き方改革のための諸施策や建設を進めてまいりました本社工場の一部稼働開始に伴う減価償却費の増加等により、前年同期と比べ657百万円（17.2%）減少の3,175百万円となりました。経常利益は、前年同期と比べ755百万円（19.1%）減少の3,200百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期と比べ470百万円（16.8%）減少の2,338百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（日本）

主要販売先への製品売上増や新製品の量産準備に伴う金型売上の増加等により、売上高は前年同期と比べ3,475百万円（9.6%）増加の39,621百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、働き方改革のための諸施策の実施による費用や本社工場の一部稼働開始に伴う減価償却費の増加、次世代技術開発に伴う研究開発費の増加等により、前年同期と比べ989百万円（30.7%）減少の2,229百万円となりました。

（中国・韓国）

中国市場の低迷により中国子会社における主要販売先への売上が減少し、売上高は前年同期と比べ718百万円（22.3%）減少の2,502百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、コスト低減活動により改善に努めましたが、減収影響等により、前年同期と比べ158百万円（60.2%）減少の104百万円となりました。

（アセアン）

タイ子会社やインドネシア子会社における主要販売先への売上増等により、売上高は前年同期と比べ1,172百万円（40.8%）増加の4,048百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、増収効果等により、前年同期と比べ157百万円（48.7%）増加の479百万円となりました。

（中米・北米）

メキシコ子会社における主要販売先への製品売上減はありませんでしたが、新製品の量産開始に伴う金型売上の増加により、売上高は前年同期と比べ2,672百万円（59.6%）増加の7,157百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、増収効果等により、前年同期と比べ184百万円（180.4%）増加の287百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ2,126百万円（1.5%）増加し、148,482百万円となりました。主な要因は、原材料及び貯蔵品が減少した一方で、有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債は、前期末に比べ547百万円（0.8%）増加し、69,702百万円となりました。主な要因は、長期借入金及び賞与引当金が減少した一方で、未払費用が増加したことによるものであります。

純資産は、前期末に比べ1,578百万円（2.0%）増加し、78,779百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,571	37,012
受取手形及び売掛金	32,286	31,133
電子記録債権	3,708	3,612
商品及び製品	3,769	3,778
仕掛品	960	1,208
原材料及び貯蔵品	5,390	3,722
未収入金	335	268
その他	1,539	1,623
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	85,554	82,355
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,354	16,364
機械装置及び運搬具（純額）	13,641	15,293
工具、器具及び備品（純額）	2,221	2,442
土地	12,788	12,710
リース資産（純額）	6,018	7,016
建設仮勘定	10,166	7,208
有形固定資産合計	55,189	61,036
無形固定資産	976	656
投資その他の資産		
投資有価証券	1,840	1,745
長期貸付金	648	648
繰延税金資産	2,043	1,999
その他	758	695
貸倒引当金	△655	△655
投資その他の資産合計	4,634	4,434
固定資産合計	60,801	66,127
資産合計	146,356	148,482

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,448	27,064
短期借入金	2,509	2,430
1年内返済予定の長期借入金	2,941	3,506
リース債務	3,298	3,476
未払金	4,420	4,656
未払費用	555	2,856
未払法人税等	1,374	903
賞与引当金	2,036	897
製品保証引当金	1,843	1,804
環境対策引当金	67	67
災害損失引当金	64	55
設備関係支払手形	321	237
その他	1,174	868
流動負債合計	47,057	48,824
固定負債		
長期借入金	15,549	14,006
リース債務	2,790	3,306
退職給付に係る負債	2,978	2,876
役員退職慰労引当金	11	12
資産除去債務	193	194
繰延税金負債	427	336
その他	147	145
固定負債合計	22,097	20,878
負債合計	69,155	69,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,426	5,426
資本剰余金	10,835	10,835
利益剰余金	60,351	61,485
自己株式	△4,415	△4,415
株主資本合計	72,198	73,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151	94
為替換算調整勘定	2,281	2,540
退職給付に係る調整累計額	△344	△256
その他の包括利益累計額合計	2,088	2,377
新株予約権	57	61
非支配株主持分	2,856	3,008
純資産合計	77,200	78,779
負債純資産合計	146,356	148,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	44,821	49,644
売上原価	38,833	44,003
売上総利益	5,987	5,641
販売費及び一般管理費	2,155	2,466
営業利益	3,832	3,175
営業外収益		
受取利息	30	36
受取配当金	15	14
持分法による投資利益	71	15
為替差益	36	30
その他	49	40
営業外収益合計	204	137
営業外費用		
支払利息	68	105
その他	12	6
営業外費用合計	81	112
経常利益	3,955	3,200
特別利益		
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	13	—
特別利益合計	14	3
特別損失		
固定資産除売却損	11	31
特別損失合計	11	31
税金等調整前四半期純利益	3,958	3,171
法人税等	997	721
四半期純利益	2,960	2,450
非支配株主に帰属する四半期純利益	151	112
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,809	2,338

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,960	2,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	△56
為替換算調整勘定	△738	293
退職給付に係る調整額	1	90
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	2
その他の包括利益合計	△790	329
四半期包括利益	2,169	2,780
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,070	2,627
非支配株主に係る四半期包括利益	99	152

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(以下、IFRS第16号)を適用しております。これにより、借手としてのリース取引については、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首のリース資産が513百万円、リース債務(流動負債と固定負債の合計)が105百万円増加しており、無形固定資産が408百万円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	中国・韓国	アセアン	中米・北米	
売上高					
外部顧客への売上高	35,190	2,286	2,865	4,479	44,821
セグメント間の内部売上高 又は振替高	956	934	9	5	1,905
計	36,146	3,221	2,875	4,484	46,727
セグメント利益	3,219	262	322	102	3,907

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,907
セグメント間取引消去	△74
四半期連結損益計算書の営業利益	3,832

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	中国・韓国	アセアン	中米・北米	
売上高					
外部顧客への売上高	36,884	1,610	4,015	7,133	49,644
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,737	892	32	23	3,685
計	39,621	2,502	4,048	7,157	53,329
セグメント利益	2,229	104	479	287	3,101

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,101
セグメント間取引消去	73
四半期連結損益計算書の営業利益	3,175